

めだかの赤ちゃん発見

小さなビオトープですが、タニシがたくさん動いています。じっと見てみると、めだかの赤ちゃんが生まれています。小さな子どもたちもめだかの動きを追いながら「おったね！」と嬉しそうです。

やごも放流したので、とんぼが見られる日も近いかもしれません。

小さなビオトープですが、子どもたちの好奇心をくすぐる不思議がいっぱいです。



子育てメッセージ

がまん がまん
ゆっくり聞こうね
子どものいい分

自立に向けて、懸命に自分を表現しようとしている子どもの主張。
なのに押さえつけてしまいそうな私…。
でも、ちょっとだけ深呼吸してみてください。
とっても、とっても大切ないい分ですよ。

子どもには、子どもなりの思いがあります。小さな赤ちゃんだって、何かあります。それが聞こえる時と聞こえないときがある。大人の気持ちが落ち着いていたら、きっと全部聞こえるのです。

全国私立保育園連盟
子育てメッセージより



年長児の理想の姿に向けて

新型コロナウイルス感染症予防のための自粛も解除となり、子どもたちの出席も増えて、園にも活気が戻ってきました。お友だちが側にいることが嬉しい子どもたちは、一緒に絵本を読んだり、歌をうたったり、制作あそびをしたりと、密を避けることはできませんが、理事長からのお便りにもあるようにすいこうでは、園児も保護者も職員も感染者はいないという前提で、できる限り従来の保育を行い子どもたちの育ちを保障していきたいと考えています。

そんな中で気になる年長さんの姿がありました。お友だちから「がいこつ」といわれ、悲しい気持ちになったお子さんがいます。本当に骸骨と思ったわけではなく、知り得た言葉を何気なしに使ったということのようですが、嬉しい言葉ではないということは、言ってしまった子どもも感じています。言われたお子さんは、帰りながらその悲しい気持ちを保護者に伝えたようです。その場面を想像すると、切なく、申し訳なく、私も悲しい気持ちになりました。年長くらいになると、よい事いけないことの判断が少しずつできるようになる頃です。また、年長児になるとグループで話し合っ、何かを決めるという場面がたくさんあります。例年ですと、4月当初は、グループで話し合っても、それぞれ自分の思いばかりを発言し、まとまらないことが多いのですが、お泊り保育のグループ名を決めるころには、お互いの意見を聞き、ちょっぴり我慢をしたりしながら、グループ名が決まります。今年は、自分の思いばかりを発言し、決まるまでにずいぶん時間がかかったようです。

子どもたちは、さまざまなあそびの中で、友だちと一緒に遊ぶことを楽しみながら、もっと楽しく遊ぶためには、自分の思いばかりを通すのではなく、ちょっぴり我慢をすること、自分の気持ちに折り合いをつけていくことを学んでいきます。そういう経験を繰り返すことで、仲間を大切に思う気持ち、協力してあそびを進める楽しさを感じ、自分に自信をつけていくのです。あそびの場面だけではなく、生活面においてもほとんどのお子さんは、自分のことは自分でできていますが、中には、持ち物の管理が

できていなかったり、自分の荷物を保護者の方に持たせて登園したりなど、「自分のことは自分でできる」ということがなかなかできないお子さんも数名いますが、今年は、経験できていないことを感じています。

そんな中で、年長さんは、7月3日4日に野外活動センターにお泊りに行きます。従来でしたら、いろいろな経験を通して「自分のことは自分でできる」という自信を持った子どもたちが、お泊りに参加することでさらに自信をつけ、就学を楽しみにすることが大きな目的だったのですが、今年は状況が違います。今年は、「お泊り保育に参加して、お友だちと協力したり、自分でできることを頑張ったり、大好きなおうちの人と離れて過ごすことができた」という経験をする中で、子どもたちに自信を持たせてあげたいと思っています。子どもたちは、お泊り保育をとても楽しみにしています。保護者の方は、心配と淋しさで、「お泊りに行ったらお母さん淋しいな」と思わずお子さんに話してしまいたくなるかもしれませんが、そこは、ぐっと我慢して笑顔で「しっかり楽しんできてね。〇〇ちゃんなら大丈夫！」と応援してあげてください。子どもたちにとっては親離れ、保護者の方にとっては、子離れの第1歩でもあるのです。年長さんは、お泊まり保育を通して、「自分でできた。」「頑張った！」という自信をつけ、一回り大きくなって帰ってきます。少し遅いスタートですが、就学に向けての1年が始まります。

年長さんだけではなく、それぞれの学年、クラスでその年に経験させてあげたいあそびを取り入れ、コロナ感染症予防対策に十分注意を払いながら、例年以上に心も身体も大きく成長していけるよう取り組んでまいります。

7月は、子どもたちの大好きな夏のあそびが本格的に始まります。コロナだけではなく、熱中症にも十分対策を取りながらできる限り夏のあそびを楽しませてあげたいと思っておりますので、引き続き、検温等のご協力、早寝早起き朝ごはんに心掛け、健康管理をお願いします。

園長

たなばたまつり

7月7日は七夕です。人日(正月)、上巳(桃の節句)、端午、七夕、重陽(菊の節句)は、昔から五節句といわれ、それぞれにちなんだお話や行事があります。

七夕は星まつりで、天の川をはさんで東西に位置するアルタイ星とベガ星をけん牛(ひこ星)、織姫(織姫星)と呼んでいます。この二人は仲が良すぎて仕事をしなくなったため、天の神の怒りに触れ、別れ別れになってしまったのです。しかし、それから二人は懸命に働き、一年に一度、7月7日カササギの橋の上で会うことが許されたと伝えられています。

「なるほど 行事ブック」参照



お願い

日が長くなり、夕方お迎えの後に、園庭でお子さんを遊ばせている方が多く見られます。親子で楽しそうなのですが、まだまだコロナウイルス感染症への予防は必須です。また、夕方は、駐車場もいっぱいになりますので、速やかに帰宅されますようご協力をお願いします。